

令和5年度第1回南相馬市地域協議会合同会議 会議録

<地域協議会の日時・場所>

1日 時：令和5年4月25日（火）

午後1時30分～午後3時30分

2場所：万葉ふれあいセンター大会議室

【 会 議 録 】

1 開 会

原町区地域協議会の平間会長より開会のことばがあった。

○事務局

地域協議会成立要件の確認

小高区地域協議会委員数 15名

【出席委員数】 12名

会長 林 勝典
副会長 阿部 貞康
委員 末永 義人
委員 小林 友子
委員 本田 博信
委員 渡邊 静子

委員 小牛田 一男
委員 末 芳治
委員 飯塚 宏
委員 杉 重典
委員 半谷 恵美子
委員 志賀 由紀夫

【欠席委員数】 3名

委員 半谷 善弘
委員 西山 喜代子

委員 堀内 洋伯

鹿島区地域協議会委員数 14名

【出席委員数】 11名

会長 草野 繁春
副会長 草野 禎夫
委員 高野 邦弘
委員 服部 隆男
委員 引地 友子
委員 太田 真樹子

委員 小林 唯彦
委員 長澤 初男
委員 菅野 由美子
委員 佐藤 清樹
委員 豊田 真由美

【欠席委員数】 3名

委員 北元 幸一
委員 渡部 実

委員 渡部 建一

原町区地域協議会委員数 15名

【出席委員数】 13名

会長 平間 勝成
副会長 本間 健一
委員 奥村 健郎
委員 前田 一男
委員 半谷 眞知子
委員 志賀 ゆかり
委員 田中 章広

委員 村上 勇一
委員 波田野 真由美
委員 小野 幸枝
委員 貝塚 大暉
委員 伏見 順栄
委員 鈴木 洋一

【欠席委員数】 2名

委員 後藤 悦宏

委員 藤原 ヒロ子

上記のとおり、委員の過半数の出席のため成立していることを確認しました。

2 開催地地域協議会長あいさつ

鹿島区地域協議会の草野会長よりあいさつ

3 市長あいさつ

門馬市長よりあいさつ

4 職員紹介

門馬市長・副市長・区役所長・部長・各区地域振興課長の順に紹介した。

南相馬市長

副市長

副市長

小高区役所長

鹿島区役所長

復興企画部長

兼原町区役所長

総務部長

復興企画部理事

(政策担当)

市民生活部長

こども未来部長

兼福祉事務所長

商工観光部長

商工観光部理事

門馬 和夫

新田 正英

常木 孝浩

佐々木 忠

高野 雅伸

横田 美明

小迫 佳行

宝玉 光之

中本 直記

末永 実

涌井 秀之

土井 義人

(企業立地担当)	
農林水産部長	森明 修由
農林水産部理事	末永 孝雄
(整備担当)	
土木課長	木幡 隆 (建設部長 代理出席)
総合病院事務部長	渡辺 裕
教育委員会事務局長	鎌田 由光
小高区地域振興課長	佐藤 克巳
原町区地域振興課長	庄司 一弘
鹿島区地域振興課長	星 憲

5 会議録署名人の指名

会議録署名人に小高区の飯塚宏委員、鹿島区の佐藤清樹委員、原町区の本間健一委員が指名された。

6 議事

(1) 報告事項

① 令和5年度南相馬市一般会計当初予算の概要について

○草野会長（鹿島区）

(1) 報告事項に入ります。①令和5年度南相馬市一般会計当初予算について、担当より説明をお願いします。

◀ 財政課 資料1により説明 ▶

○草野会長（鹿島区）

はい、ただいま担当より説明をいただきました。この説明に関してご質問等がございましたら、挙手の上、ご発言をお願いしたいと思います。

○平間会長（原町区）

小中学校への各種支援員の配置について、小学校の特設クラブ中学校の部活動を民間にお願いするというのが県の方針と思いますが、その予算は確保していますか。

○教育委員会事務局長

部活動の指導員について、今年度の予算は部活動指導員6名の配置を予算計上しています。地域移行に関しては、今年の2月に各学校の先生や現在部活動指導に関わっている方や各種団体などに集まっていただいて、今後どのように地域に移行していくか検討が始まっております。なかなか受け皿が整っていない状況にありますが、推進期間内に受け皿の整備も行いながら地域移行をしていきたいと考えています。

○田中委員（原町区）

原子力災害復興政策の柱7の分野「小高区魅力ある教育推進」について、このフォニックス学習はなぜ小高区のみで最初の取り組みとなったのか経緯もしくは根拠を教えてください。

また、今後、南相馬市の学校全域にひろげていく目論見があるようですが、大体いつくらいの時期になるのか、予算規模はどのくらいになるのか教えてください。

○教育委員会事務局長

フォニックス学習につきましては、正しい発音を学ぶことによって会話ができたり書くことができたりということで英語力を高めるものとなっています。小高区におきましては、令和3年4月に小高区の学区が一つになったことで小高区文教ゾーンの利点を活かした小中一貫教育がスタートし、魅力ある教育環境を整備するために令和4年度からモデル事業として始めたところです。

今後の予定としましては、令和6年度に市内へ拡大する予定であり、今年度中にカリキュラムの作成等を行うことになっています。

なお、予算額につきまして、申し訳ないですが現段階では予算額の推定はしておりません。

○常木副市長

なぜ小高区からなのかというご質問だったと思います。このような認定こども園から中学校まで一貫してやっている例は全国的にもないなか、かなり試行錯誤しながら進めているところでありまして、やりやすい場所が小高区であったということです。

また、小高区に若い移住者を増やしたいこともあり、魅力的に映る教育を小高区でやるべきという2つの理由でやらせていただいております。

今後の展開ですが、かなり試行錯誤しながらやっております、令和6年度を目指しつつも慎重に進めているところです。

○田中委員（原町区）

いまほどのご説明でよくわかりました。そのあたりの経緯につきまして、よく周知していく必要があるのではないかと考えております。

○引地委員（鹿島区）

フォニックス学習について、認定こども園や小中学生などで該当している方は大体何名くらいなのか知りたいです。

○教育委員会事務局長

小高区の認定こども園69名のうち、5歳児で16名が学習しています。また、小学生に関しては、1年生23名、2年生が11名、3年生が15名、4年生が9名、5年生が9名、6年生が10名ということで77名が学習しています。中学生につきましては、1年生が9名、2年生が13名、3年生が20名で42名が学習しています。

○小林委員（小高区）

なぜ小高区だけがという皆さんからの疑問ですが、小高区は生徒が0というときがあつてここまで増えたということは教育関係者の努力があつたと思います。そういっ

た小高区の現状も他の区の方にも理解してほしいと思います。

○末委員（小高区）

小高区のスマート IC について、事前質問への回答に令和 5 年度からは地権者の同意が得られたところから用地取得をしていくとあります。そのなかに大型の補償案件もあると書いていますが、どういったものかこの場で言えるのであれば教えてください。

○土木課長

大型の補償案件が具体的にどういったものかという質問ですが、申し上げられる範囲でお答えしますと花の栽培施設の補償が出てくる予定です。比較的大きな施設で営業補償も伴います。宅地につきましても 2 か所ありまして、こちらは現在交渉中といった状況です。市としましては、なるべく早く供用時期についてお知らせしたいと考えております。

○林会長（小高区）

2 件ほど伺います。定額タクシー「みなタク」の拡充について、この内容を見ますと高齢者や障がいのある方を病院に運ぶということと思いますが、いま全国的に在宅診療が増えてきております。南相馬市の病院としても、こういった予算を組むのであれば、もう少し在宅診療に関わる取組みを入れても良いのではないのでしょうか。このあたりの考えについてお聞かせください。

もう一つは、新庁舎の建設について、この資料には建設場所の記載はないですが、検討委員会で決定したものと思います。100年のまちづくりをするにあたって、今からできるであろう道路の整備や多くの人がゆったりとした場所で庁舎に行くことができるという考えを持ったうえで建設を決断してほしいと思いますので、そのあたりについて質問します。

○総合病院事務部長

在宅医療につきましても、病院に通う足のない方などにとって自宅にしながら療養を受けられる非常に有効な手段だと考えています。在宅医療、オンライン診療についても従来に増して取り組んでいきたいと考えております。

みなタクにつきましても、各区だけでは解決しない医療もあると思いますので、小高区から原町区、鹿島区から原町区といったように活用してもらうことを想定しています。

○総務部長

新庁舎の建設場所についてのご意見でございますが、現在のゆめはっと駐車場を予定しているところでございます。この件につきましては、地域協議会で皆様にもご審議いただいた内容となっております。新庁舎の建設候補地については、市民検討委員会の中で複数の候補地を出していただきまして、そのあと具体的に市で色々と検討してほしいというご意見をいただいたところです。

また、市民の方から一番ご意見をいただいたのが、現在の市役所の駐車場がとても狭いというもので、市役所の駐車場を非常に広くしてほしいという意見がありました。そのようなことから、市民検討委員会や皆様にもご検討いただいた中から、最終的に、ゆめはっと駐車場が市の中心部に市役所を置くという基本的な考えや市民の方が市役所にくる際に余裕のある駐車場を確保できることから、ゆめはっと駐車場を建設

候補地にしたということであります。

具体的に、後ほど建設の概要について説明いたしますが、建設の場所については今回、そのような考えで決定させていただいたところです。

○林会長（小高区）

新庁舎の建設について、確かに前回の地域協議会で話は聞きましたが、これでOKということになったとは思っていません。これからどういう風になるのか今作っている計画も全体像が分からないし、建設の場所も今後60年、70年を見据えて絶対に悔いのないものにするべきなので、簡単に物事が進められるものではないと考えています。そういった点について改めてお願いをして質問を終わりたいと思います。

○草野会長（鹿島区）

他に質問はありますか。時間的にだいぶ厳しいですが、あと1問か2問受け付けたと思います。では、ほかにご発言がないようですので、本案件に関してましては以上といたします。

② 南相馬市立病院理念について

○草野会長（鹿島区）

②南相馬市立病院理念について、担当より説明をお願いします。

◀ 総合病院総務課 資料2により説明 ▶

○草野会長（鹿島区）

ただいま担当より説明をいただきました。この説明および事前質問への回答に関してご質問等がございましたら、挙手の上、ご発言をお願いしたいと思います。

○田中委員（原町区）

新しい病院理念の目標の安全・安心「私たちは、医療安全に努め、24時間安心してもらえる病院を目指します。」「安全な医療サービスを提供し、診ることができる患者さんは断らない体制を目指します。」とあります。是非このようにあってほしいと思います。

こういった体制を整えるうえで、院内の改善のポイントやどのような手法で24時間安心して診察する病院を目指すのか現時点で具体策があればお聞きしたいと思います。

○総合病院診療部長

当院にはまだ医師、薬剤師、検査技師が不足しておりますので、24時間患者さんを診察しようとするともまだ人数が足りないという状況です。市民の皆さんから信頼を得られるように今後そういう体制を構築したいと考えております。

○田中委員（原町区）

従事者不足という非常に厳しい状況にあるのだらうと思います。今後、従事者の確保や対応・体制の充実を図っていただければと思います。私自身もですが、夜間救急を3回ほど断られたことがありました。これは責めているわけではなく、対応したくてもできない病院内の大変な事情もあると察します。市立病院は基幹病院でもありますので、財源も含めて病院の充実化を図っていただきたいと思います。

○草野会長（鹿島区）

ありがとうございます。そのほかにございませんか。それではご発言がないようですので本案件に関しましては、以上といたします。

③ 南相馬市第三次総合計画について

○草野会長（鹿島区）

③南相馬市第三次総合計画について、担当より説明をお願いします。

《 企画課 資料4および動画により説明 》

※資料3は報告取下げにより欠番

○草野会長（鹿島区）

ただいま担当より説明をいただきました。この説明に関してご質問等がございましたら、挙手の上、ご発言をお願いしたいと思います。

○末委員（小高区）

政策の柱4「担い手の確保・育成と効率的な生産基盤の整備」について、具体的なものがあれば教えてください。

○農林水産部長

「担い手育成・確保」の観点では、資料1のP.18左下にありますように、多様な担い手が本市で就農できるよう農業法人への就農あっせんや農地賃借料支援、移住して就農される方の家賃などの支援があります。

また、「効率的な生産基盤の整備」の観点からは、現在海側を中心に大規模なほ場整備をしていることに加えて、「水田の畑地化」を行い、畑作物の生産にも適した整備をしていきますという趣旨でございます。

○末委員（小高区）

担い手育成という点では、南相馬市には相馬農業高等学校がありますが、相馬農業高等学校を卒業して農家になるような人は年間でどれくらいいますか。

○農林水産部長

相馬農業高等学校の卒業生が毎年どれくらい農業関係に就職しているかについて、学校の先生から聞いている話では、農協など農業系に就職するケースはありますが、

実際に就農するケースは少ないとのことですが、数としては少ないですが相馬農業高等学校の卒業生を毎年受け入れて雇用する農業法人も市内にはあります。

○小林委員（小高区）

政策の柱5「脱炭素社会を目指したエネルギーの利活用」について、現在小高区の街なかにソーラーパネルが増えてきています。宅地もソーラーに代わっていています。小高区は現在3000人ほどで、土地の管理ができていない状況もありますが、山がなくなる勢いで土取りをしているところもあります。こういったことについて市としてはどのように考えているのか教えてほしいです。

○市民生活部長

エネルギー政策として太陽光発電は推進している状況ではありますが、乱立されているという環境美化の観点では皆さんが不快に感じているのかなということは実感しております。

そこを規制するというのではなくて、景観上、環境保全上、そういうものをしっかりと指導しながら建てていただきたいという状況です。

○小林委員（小高区）

畑や田んぼのかなりの数がソーラーに代わっていますが、建物の上に乗せることも出来ると思います。そういったことについて、許可を出している県に市として要望をだしていただければありがたいと思っております。

○本間副会長（原町区）

政策の柱3「介護予防と高齢者福祉の向上」について、高齢者が認知症になる予防として補聴器が有効なのはわかります。ただ、認知症の初期の段階で交通事故や万引きをしたりするのが報道されている。このことについて、もっと考えるべきだと考えています。単に補聴器だけを買えば良いというものではないと思うのですが、この点についてどう考えているのかお聞きしたいです。

○草野会長（鹿島区）

高齢者が補聴器を買ってもあまり使わないというケースもよく聞きます。もっときめ細かい対応をしていかないといけないのかなと思っています。

○常木副市長

少子高齢化という世の中のなかで、南相馬市でも高齢化が進んでおり社会的な課題になっていると思っています。認知症の問題については、まず早期発見をしっかりとしていくことと発見した後の相談体制、サポート体制をしっかりと構築していきたい。社会全体として、誰にでもそういうことが起こりえることを理解していくのが大事と考えています。

治療法はないため、早めに見つけて社会全体で対処していくしかないのかなと思っています。市としてもしっかりと認識して対応していきたい。

また、補聴器については色々な種類がありまして、インターネットなどで手にはいるものもありますし、数千円から数十万円のものまであります。今回補助するのは、装着のときから医療機関でしっかりと指導してもらうもので15万程度のかなりの性能のものが購入できる制度となっています。今回初めてこういった取組みを行うため、

適宜改善をしながら進めていきたいと思っています。

○本間副会長（原町区）

気軽に症状の相談ができるような体制づくり、ここが相談窓口だよと市民にはっきりとお知らせするような方向づけをしていただきたいと要望したいと思います。

○林会長（小高区）

政策の柱7「環境の回復」に関して、小高の駅については駅員がおりません。今年度からここでやっていた子供たちの見守り事業も廃止になりました。子供たちの待機場所もありませんし、この状況は疑問に感じています。小高区の駅は地域の顔ですから、これで良いのか考えを聞かせていただきたいと思います。

○小高区役所長

小高区の駅の見守りについて今後どう考えるのかということですが、令和4年度末までは一定程度の見守りの対応をしてきました。今後の見守りの対応については、JR等と調整が出てくると思います。市として小高区の駅は小高の顔という認識をしておりますし、高校生など子供の見守り等も含めてどういう対応が必要なのか今後検討が必要だと考えております。見守りへの対応は市だけで出来ることではないため、色々な意見も踏まえながら今後のあり方について出来るだけ早い期間のなかで整理していきたいと考えております。

また、その方向につきましても、地域協議会にお話をしながら整理していきたいと考えております。

○草野会長（鹿島区）

同じように鹿島区においても鹿島駅舎について問題ありますので、市の協力をお願いいたします。

○草野会長（鹿島区）

他にご質問ございませんか。それではご発言がないようですので次の案件に入りたいと思います。

④ 南相馬市新庁舎建設に係る基本設計提案について

○草野会長（鹿島区）

④南相馬市新庁舎建設に係る基本設計提案について、担当より説明をお願いします。

《 公有財産管理課 資料5により説明 》

○平間会長（原町区）

現在の庁舎については駐車場になるというように聞いているが、現庁舎の活用方法と新庁舎の関係についてお聞かせいただきたい。

○公有財産管理課新庁舎建設推進係長

新庁舎が開設した後の現在の庁舎の活用方法について、基本計画に記載がありますが、現庁舎は解体して敷地は全て駐車場とするという計画です。いまの庁舎の規格ですと200台くらいの駐車スペースが生まれるという試算があります。

○平間会長（原町区）

そこは、ゆめはっとの専用駐車場というわけではないわけですね。新庁舎が建設された後は今まで使っていたところが市役所の駐車場になりますよね。ゆめはっつとで大型イベントがあった場合は、これまでのゆめはっとの駐車場では足りないと思います。

新庁舎建設後の市役所を利用する場合、ゆめはっつとを利用する場合の駐車場の利用の考え方はどうでしょうか。

○公有財産管理課新庁舎建設推進係長

現在のゆめはっとの駐車スペースに若干用地を取得して新庁舎を建てるという計画です。そのうえで、現在の駐車場規格のままスペースを計算しますとおおよそ326台分とれるという提案です。また、現庁舎を取り壊した後のスペースは200台となり、合計すると約500台の駐車スペースがとれるということになります。

このなかで、来庁目的で利用される方は最大で90台という試算になっています。ですので、90台を超える部分の駐車スペースについては全てゆめはっつのイベント時にもご利用いただけるとなります。総合的に相互に使えるというような計画でございます。

○奥村委員（原町区）

全体的な図面のなかに東北電力さんの敷地があります。これまでの検討のなかで、東北電力さんに駐車場としての交渉等をしてきたことがあるのか確認したいと思います。

○公有財産管理課新庁舎建設推進係長

新庁舎建設時に隣接しております東北電力さんの敷地について、私がきて2年目となる間で東北電力さんと何らかの交渉をしたということはありません。

○奥村委員（原町区）

東北電力も名称が変わって、今は東北電力ネットワーク株式会社、あそこの場所は相双電力センターという事業所になっており、従業員は組織整備も含めて相当減っています。この大きさの建物が必要なのかということや、築年数もだいぶたっていると聞いておりますので、東北電力さんも建て替えの検討する時期が来るのではないかと思います。

そういったなかで打診することは必要だと思いますし、あとで建物が小さくなって空き地になっている状況とならないように対応をお願いしたいと思います。

○公有財産管理課新庁舎建設技術担当課長

只今いただいたご意見について、折をみて話してみたいと思います。

○半谷委員（原町区）

材料について木材を使って海に見える議場を作るということですが、昨今は地球温暖化でかなり温度があがっています。そういう光を取り入れる作りをすれば室温が上がってしまい議事進行にも支障をきたしますし、電気料も懸念されますがこちらの設計についてはいかがお考えでしょうか。

○公有財産管理課新庁舎建設推進係長

建物の構造に関するご質問ということですが、今回プロポーザルを行ううえで庁舎を運営していく経費も審査対象としていたところでございます。今回の提案のなかでは、光を取り入れつつも省エネが達成できるというような形を示していたところですが、いまご質問にありましたとおり、光を取り入れすぎると室温が上がりすぎてしまって冷房代もかさんでしまうということが当然でございます。そうしたところは、ひさしを大きく張り出すことで夏は日差しを防ぐ、冬は光が入ってくる角度というのがあり、そうしたものを活用しながら、省エネを達成した庁舎というところを今回目指しております。

○飯塚委員（小高区）

一つは、最近Jアラートなどあるが計画している庁舎は頑丈なのか、市民の安全を守るための避難に耐えられるかどうか、地下1階2階なども考えていたのかどうか。

今後のことを考えるとドローンの自動車などが出てくると思うが、屋上で発着できるのではないかと。自転車の駐輪場が少ないと思うので、建物の近くに作るなどを考えて進めてもらえればと思います。

○公有財産管理課新庁舎建設推進係長

今後どうなっていくのかを予測することは難しいわけですが、可能な限り将来にわたって使える庁舎として、いただいたご意見も反映させながら設計して参ります。

(2) その他

① 次回開催日程について

事務局より、原町区の次回地域協議会を5月25日、小高区の次回地域協議会を5月26日、鹿島区については改めて連絡する旨のお知らせを行った。

○草野会長

はい、わかりました。ほかにごございますか。これを持ちまして本日の議事はすべて終了いたしました。スムーズに議事が運営されましたことに対し、各区の委員の皆さまに御礼を申し上げ、議長の任を解かせていただきます。ありがとうございました。

7 閉会

小高区地域協議会の林会長より閉会のことばがあった。

以上のとおり相違ありません。

会 長 林 勝典

会議録署名人 飯塚 宏

以上のとおり相違ありません。

会 長 草野繁春

会議録署名人 佐藤清樹

以上のとおり相違ありません。

会 長 平 岡 勝 成

会議録署名人 本 岡 健 一 